## あなたは子どもに 答えられますか?

# 宝島社 新刊情報

2021年12月吉日

#### 「赤ちゃんはどこからくるの?」「おちんちんはどうして大きくなるの?」

親子で学べる『性教育なぜなにクイズ図鑑』12/14発売!

# 教えないと子どもは性犯罪に気づかない!?



『大人も知らない!? 性教育なぜなにクイズ図鑑』

> 定価:1430円(税込) 発売日:2021年12月14日

「避妊」について、韓国では中学校、オランダでは小学校で習いますが、日本では高校生になるまで学校では習いません。性犯罪に巻き込まれないためにも、性教育は、抵抗や偏見がない10歳までが始めどき! 男女の体のしくみから、性に関する疑問、自分の体を守るために知っておくべきルールや気をつけるべきポイントなど、この一冊でよくわかります。

イラストたっぷりのクイズ形式だから、これまで性教育をしてこなかったご家庭でも、親子で楽しみながら「性」のことが無理なく学べる! 監修は性教育アドバイザーで、「とにかく明るい性教育【パンツの教室】協会」代表理事ののじまなみさんです。

<目次> パート1:知っておきたい性と成長の話

パート2:体と性の基本、なぜなにクイズ

パート3:「心」と「体」を守るための5つのルール

#### 10歳までが始めどき!あなたはどう答えていますか?

★赤ちゃんはどこからやってくるの?

**★おちんちんはなんで大きくなるの?** 

★月経(生理)ってどんなもの?

★射精をがまんし続けるとどうなる?

★大好きな相手となら性病にかからない?

★性器のまわりに毛が生えるのはなぜ?

主要先進国の中で、日本の子どもたちの自己肯定感は ダントツで最下位。自分自身に満足している子が10%しか いないこの日本の子育ての現状を、そして教育の現状を変えて いくのが性教育だと私は本気で信じています。



監修:のじまなみプロフィール

性教育アドバイザー。とにかく明るい性教育「パンツの教室」協会 代表理事。長崎県出身、3 姉妹の母親。防衛医科大学校高等看護学院卒業後、看護師として泌尿器科に 勤務。子育で中の出来事が転機となり、2016年、とにかく明るい性教育「パンツの教室」アカデミー開校。全国から開催依頼が多数寄せられ、2018年、とにかく明るい性教育「パンツの教室」協会設立。2021年11月現在、性教育インストラクターを国内外で200人以上養成。「パンツの教室」が主宰する講座の受講生はのべ1万人以上。自身が発信するメールマガジンの読者は3万人以上。企業や行政機関、青年会議所、小・中学校などでも講演会を実施し、年間1万人以上を動員。おもな著書に『お母さん! 学校では防犯もSEXも避妊も教えてくれませんよ!』(辰巳出版)、『男子は、みんな宇宙人! 世界一わかりやすい男の子の性教育』(日本能率協会マネジメントセンター)などがある。

とにかく明るい性教育「パンツの教室 I協会HP

https://pantsu-kyoshitsu.com

# 教えないと子どもは性犯罪に気づかない! 「水着ゾーン」は見せない!触らせない!



胸、おしり、性器に、口を加えた4か所が、 あなただけの大事な場所!



#### 日本は遅れてる!? 海外の性教育

「避妊」について学校で教わるのは 韓国では中学校、オランダでは小学校で教わりますが、 日本は高校に入ってから。



日本では同性婚は認められていません。



### 大人も知らない!? クイズも多数!

女性の卵子の数はお母さんのおなかにいるときがピーク! 生まれる前に1/3以下の200万個に、 初経のときは約20~30万個に。



赤ちゃんの最初のうんちは、黒緑色!

